



第一礼拝次第

メッセージ: 長沢崇史牧師
 プレイズリード: 郭永東牧師

前奏	5 4 0	会衆
主の祈り		会衆
プレイズ	「輝かせよ」 「主は我らの太陽」	会衆
聖書朗読	列王記下 4:1~7 (旧約聖書 p581)	司会
祈賛美	新生 6	司会 会衆
メッセージ	「あるものに目を留めよう」	牧師
祈賛美	5 1 7	牧師 会衆
報告		司会
頌栄	新生 6 7 2b	会衆
祝		牧師



第二礼拝次第

ユースゴスペルフェスティバル

メッセージ・賛美リード: 長沢崇史師
 午後5時開始



ファミリー礼拝

聖書: サムエル記上 16:6~13
 メッセージ: 「選ばれたダビデ」

<巻頭言>

「天来のビジョン」

牧師 渡真利彦文

賛美や礼拝の中で、私たちがビジョンを持つことは大事です。「幻のない民は滅びる」という御言葉は、大切だと示されています。幻、ビジョンは教会形成や様々な分野において必要です。賛美においても神からビジョンが与えられるなら素晴らしいと思います。ビジョンは活性化を生み出し、御言葉に従う気持ちを与え、前向きな姿勢を導きます。私たちは「滅びる」という言葉に目を向けがちですが、逆に、神から与えられたビジョンに生きる時、私たちは生き生きと歩むことができます。

では、神から与えられる天来のビジョンに生きていくとはどういうことでしょうか。それは神が私たちにどういう期待を持っておられるのかを知ること、神が見せてくださるビジョンを信仰の目を以て見ることなのです。

聖書の人物も、ただ何となく生きていた、なんとなく神を礼拝していたということではなかったと思います。神の大きな計画があって、その中で神が聖書の多くの人物が用いられてきたのです。そうであるなら、「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。」(ヨハネ 15:16)と語る神は、同様に私たち一人一人を選び用いようとされておられることを信じます。私たちの普段の生きざまの中で、賛美や礼拝で神のビジョンの中にあることを確認することは大切です。賛美と礼拝を通して神のビジョンに生き、神が計画された大きな枠組みの中で私たちは歩いていくのです。